

公益財団法人岩手県国際交流協会～外国人県民と共につくる明るい未来～いわてビジョン 2019 概要

策定の趣旨

外国人県民等*の増加や国際交流を取り巻く環境の変化に対応し、将来を見据えて活動を積極的に展開していくため、長期ビジョンを策定します。

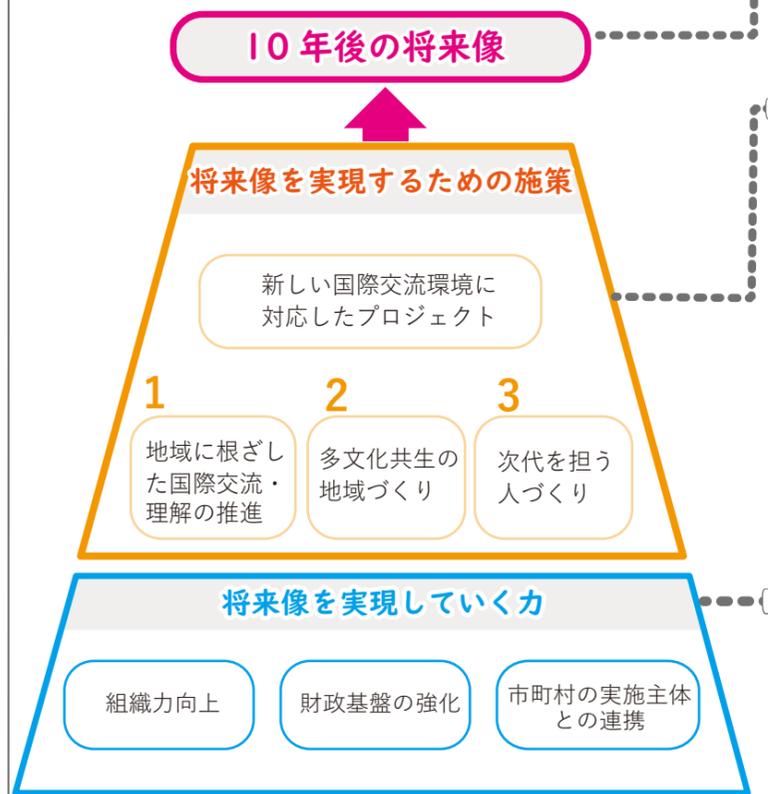
位置付け・期間

本県の国際交流を取り巻く状況を展望し、その状況の変化に対応して当協会としての「目指すべき将来像」、そしてその将来像を実現するための「取組の方向性」を示します。計画期間は10年とします。

岩手県国際交流協会の役割

- 時代に即した国際交流・理解の啓発普及
- 国際交流や多文化共生に関する総合的な支援
- 外国人支援の総合的な窓口
- 他組織とのコーディネート
- 世界と岩手県をつなぐネットワークの拠点
- グローバル人材の育成・定着

《ビジョン概念図》



目標とする10年後の将来像

同じ地域の構成員として、日本人県民と外国人県民等が、個々の力を発揮し、互いに尊重し合い、共に快適で住み心地のよい岩手が築かれている。

県全体で多文化共生の理解と体制づくりが進み、県内各地域において、外国人県民等が必要な支援を受けられている。

国際交流や多文化理解等を通じてグローバルな視点を持った岩手と世界をつなぐ人材が育ち、活気ある岩手の地域づくりに貢献している。

将来像を実現するための施策

新しい国際交流環境に対応したプロジェクト

新たな環境の変化に対応しながら、長期的な視点に立ち先導的な取組を進めていくため、次の6つのプロジェクトを掲げ、積極的に推進します

協会設立30周年記念プロジェクト

当協会の30年の歩みを振り返りながら、未来につなげるための記念事業を企画・実施します

ILC支援プロジェクト

ILCの誘致実現を目指し、関係機関と連携・協力し、「国際研究拠点『いわて』」として暮らしやすい地域社会づくりに取り組みます

働く外国人支援プロジェクト

外国人労働者の生活上の課題やニーズに応え、外国人が働きやすい地域社会の構築を目指します

多文化共生の地域づくり<ダイバーシティ>プロジェクト

外国人県民等が個々の持つ多様性や能力を生かし、日本人県民と共に取り組む地域づくりを目指します

グローバル人材育成プロジェクト

国際交流や多文化理解等を通じてグローバルな視点を持った岩手と世界をつなぐ人材の輩出を目指します

外国人留学生等就職活動支援プロジェクト

日本語能力を持ち、日本の文化や社会システムに一定の理解を有する外国人等の岩手県内定着を目指します

1 地域に根ざした国際交流・理解の推進

各地域の特徴を生かし地域に根ざした国際交流・理解の取組を推進します

- 国際交流センターにおける情報提供等サービスの充実
- 市町村、市町村国際交流協会等の職員を対象とした専門知識や最新情報の提供
- 国際交流活動団体に対する資金助成
- 国際交流イベント等実施のための人材紹介、物品貸出等による、各地域における自主的な取組の支援

2 多文化共生の地域づくり

多様な文化を尊重し合い、日本人県民と外国人県民等が共に暮らしやすい環境の整備に取り組みます

- 様々な交流や外国文化紹介機会の提供・促進
- 支援者や情報通信技術の活用等による日本語学習機会の提供・促進
- 地域の日本語教室の活動支援、日本語指導の新たな担い手の育成
- 多言語およびやさしい日本語での情報提供の促進
- 専門性を持った相談体制づくり
- 教育機関との連携による日本語指導が必要な児童生徒の支援
- 災害時における多言語支援センター機能の整備
- 医療機関受診等における受入体制の整備や、社会保障制度の理解促進のための情報提供

3 次代を担う人づくり

グローバルな視点を持つ人材による活力ある地域づくりを目指します

- グローバル視点や世界に通じるコミュニケーション能力習得の機会提供
- 教育機関等との連携による小中高大等の各段階に応じた体系的な人材育成の取組
- 留学等海外へ踏み出す若者の支援

将来像を実現していく力

組織力向上

- コア・コンピテンスの獲得
- 職員の能力向上
- 行政との適正な役割分担
- 適正な組織運営
- 参画者の増強
- 信用・信頼の構築

財政基盤の強化

- 各種助成事業の積極的な活用
- 基本財産の安全かつ有効な運用
- 経費の節減
- 賛助会員数の増加

市町村の実施主体との連携

- 連携強化・事業実施の支援
- 専門知識や情報の提供・共有

* 外国人県民等… 外国籍を持つ県民のほか、日本国籍を取得した県民や、国際結婚などによって生まれた外国人の親の文化を背景に持つ子どもなど、外国にルーツがあり、外国籍の人と同様の政策的ニーズを持つ県民とします。